

Redmine3分クッキング

設定変更を乗り切る工夫 事例



2017/5/13

redmine.tokyo 第12回 勉強会 LT#3

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

スーパーコンピュータ活用課

木元一広



自己紹介

●Redmine利用歴

- 2013/12- (約3年 (若干ブランクあり))
- CODAの運用・保守・拡張 他

スーパーコンピュータ
活用課の活動を記録・
管理

●JAXA 研究報告

- JAXA-RR-15-003 「CODA: JSS2の運用・ユーザ支援を支えるチケット管理システム: Redmineの事例と利用のヒント」

<https://repository.exst.jaxa.jp/dspace/handle/a-is/557146>

- 英訳もあります
- “CODA: Ticket Management System to Support JSS2 Operation and Assistance to Users: Redmine Implementation and Hints of Its Usage”
<https://repository.exst.jaxa.jp/dspace/handle/a-is/574705?locale=en>

CODA: JSS2 の運用・ユーザ支援を支えるチケット管理システム
- Redmine の事例と利用のヒント -

木元 一広^{*1}

CODA: Ticket Management System to Support JSS2 Operation and Assistance to Users
- Redmine Implementation and Hints of Its Usage -

Kazuhiro KIMOTO^{*1}

Abstract

Redmine is an excellent ticket-management-system software for various purposes, one of the OSS which is getting more attention recently. Supercomputer Division of JAXA has been constructing and running CODA system based on Redmine since 2014, when installation of JSS2 SORA Super Computer system was started. This paper introduces CODA system as an example of Redmine implementation. This paper also discusses the hints and tips of definition, setting and operation of Redmine for better use, based on the experience of CODA.

Keywords: Redmine, JSS2, CODA, ticket-management-system, project management software, チケット管理システム, プロジェクト管理ソフトウェア

概要

Redmine はさまざまな業務に利用できる優れたチケット管理システムで、近年注目されている OSS の一つである。JAXA スーパーコンピュータ活用課では、2014 年の JSS2 SORA スーパーコンピュータ導入を機に Redmine をベースにした CODA システムを構築・運用している。本稿では、Redmine の利用事例として CODA を紹介する。合わせて、Redmine を一層効果的に活用するため、CODA の構築・運用経験から見いだされた変更や設定、運用の工夫を紹介する。

1. はじめに

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）では、JAXA の二世代目のスーパーコンピュータシステムである JSS2 (JAXA Supercomputer System Generation 2)-SORA (Supercomputer for earth Observation, Rockets, and Aeronautics)^{*} が 2014 年 10 月に稼働開始した。2015 年 4 月には第 2 期運用として主要な計算資源である SORA-MA (Main System) が加わり、本格的な利用が進んでいる。

JAXA スーパーコンピュータ活用課は、JSS2 の運用及びさまざまなユーザ支援活動を行っている。スーパーコンピュータ活用課では、JSS2 の導入を機に CODA (CODA is the Operation and Development Assistant) と呼

ぶチケット管理システムを構築した。現在、CODA は運用や支援のための情報共有・進捗管理に使用されており、スーパーコンピュータ活用課の活動に不可欠の存在となっている。CODA は、オープンソースソフトウェアのチケット管理システム・プロジェクト管理ソフトウェアである Redmine をベースにした業務管理アプリケーションである。

本稿は全体を通じて、今後 Redmine のようなチケット管理システムの導入検討や構築・設定をされる方々に有益な情報を提供することを目的とする。まず、Redmine の特徴を概観し、次いで、スーパーコンピュータ活用課でのチケット管理システムの経験と課題及び CODA の導入経緯、利用状況を紹介し、その利点を業務での活用について述べる。

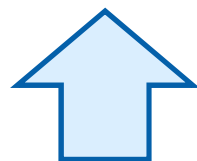
* 平成 27 年 10 月 6 日受付 (Received 6 October, 2015)

^{*1} セキュリティ・情報化推進部 スーパーコンピュータ活用課 (Supercomputer Division, Security and Information Systems Department)

2016/05/31 巻末に訂正誤りがあります。There is a corrigendum in the last page.

- **変更したいフィールド以外は過去の状態を維持して(できるだけ触らずに)更新するには?**

課題とその対処法



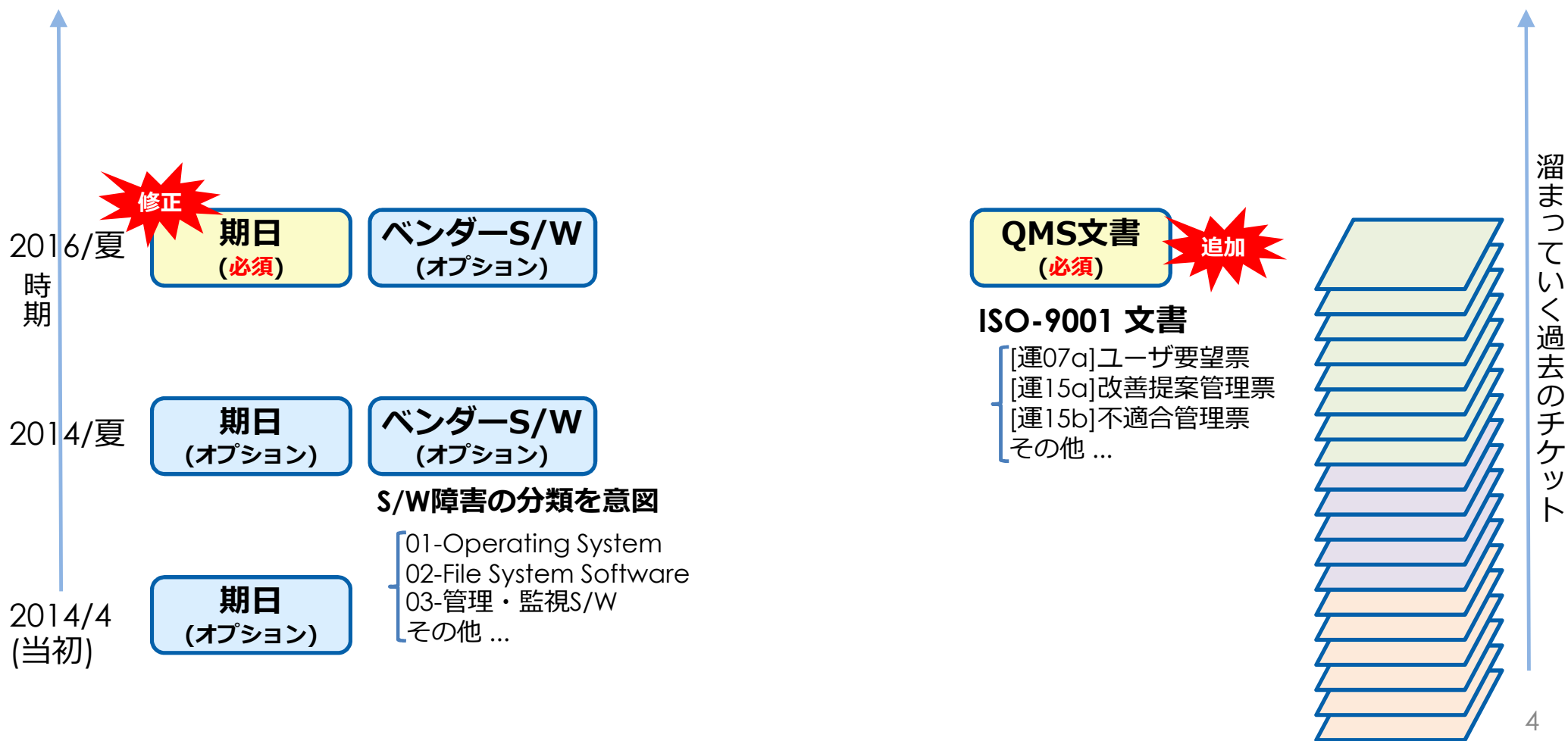
Redmineの設定変更は、GUIで簡単に行える!

でも、既存チケットのデータの値の保守などをスムーズに行うには、これだけでは足りない・・・

- 今日には実際に経験した内容と、その背景にあるRedmineの構造もちょっとだけ触れて、ご紹介します。
- 実際よりもややシンプルなシナリオで再現してご紹介します。
- 資料中の画面コピーは、説明用に作ったもので、CODAではありません。
 - Redmine V.3.1.1 で作りました。

●CODAの変遷

当初のとてもシンプルなチケットから、徐々に
組織運営の管理・改善のツールとして強化・・・



- 組織運営の管理・改善のツールとしてさらに強化・・・
- ここで、課題が発生



●過去チケットの「ベンダーS/W」の値を「作業分野」に引き継ぎたい

新旧チケットを通して検索できるように



●普通にやると、当然、~~怒られます~~ できません ⇒ どうしよう?!

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート ニュース 文書 Wiki 設定

全般 #8

- QMS文書を入力してください。
- 期日を入力してください。

プロパティの変更

プロジェクト * DEMODA運用

トラッカー * 全般

題名 * 2016/05/01 ベンダーS/W追加、まだまだシンプル6

説明

ステータス * 対応完了

優先度 * Normal

担当者 * キャロル H

作業分野 * z1-Operating System

QMS文書 * -- 请选择 --

親チケット

開始日 2016-05-01

期日 *

ベンダーS/W 01-Operating System

注記

B I U S C H1 H2 H3 pre

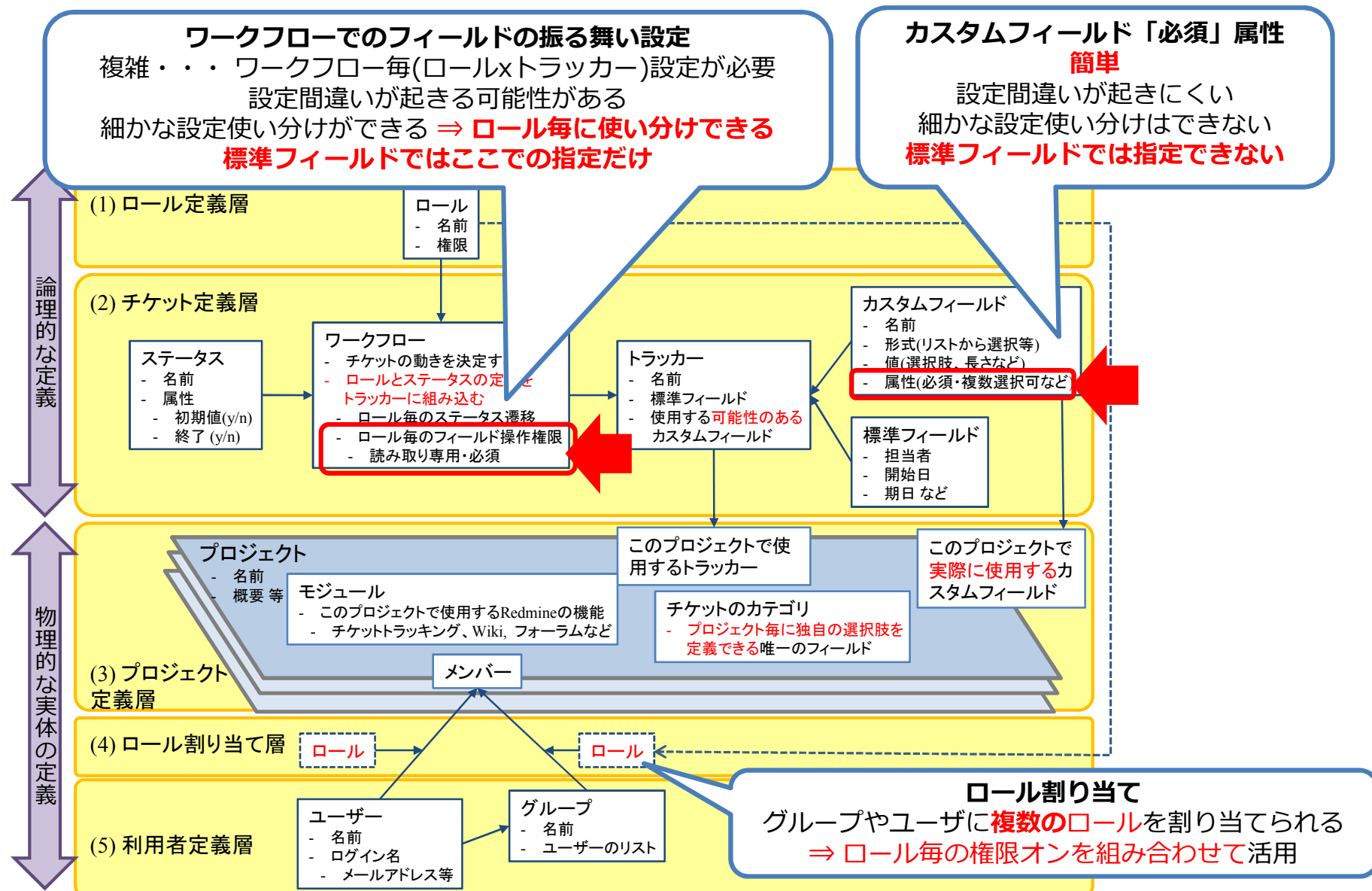
ベンダーS/Wの値を作業分野に反映させたいが・・・

このチケットは、期日もQMS文書もセットされていない。
いい加減な値をセットすると、不正確なデータになってしまう。

●Redmine の構造を思い出してみる

- フィールドの「必須」指定はワークフローでもできる。
- ロール毎に使い分けできる！

なんだか、できそう!?



●カスタムフィールド定義の「必須」指定をオフ

カスタムフィールド + 新しいカスタムフィールドを作成

チケット

名称	書式	必須	全プロジェクト向け	使用中	ソート	
作業分野	リストから選択	✓		1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除
QMS文書	リストから選択	✓		1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除
ベンダーS/W	リストから選択	✓		1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除

↓

✓ 更新しました。

カスタムフィールド + 新しいカスタムフィールドを作成

チケット

名称	書式	必須	全プロジェクト向け	使用中	ソート	
作業分野	リストから選択			1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除
QMS文書	リストから選択			1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除
ベンダーS/W	リストから選択			1プロジェクト	📁 ▲ ▼ 🗑	🗑 削除

●代わりに、ワークフローで設定

- ワークフローの設定を使い分けるためのロールを追加
 - 過去チケットの値の保守専用ロール
 - 「必須欄保守」

ロール » 新しいロール

名称 *

このロールにチケットを割り当て可能

表示できるチケット

表示できる作業時間

表示できるユーザー

ワークフローをここからコピー

権限

チケットトラッキング

<input type="checkbox"/> チケットのカテゴリの管理	<input type="checkbox"/> チケットの閲覧	<input checked="" type="checkbox"/> チケットの追加
<input checked="" type="checkbox"/> チケットの編集	<input type="checkbox"/> チケットのコピー	<input type="checkbox"/> 関連するチケットの管理
<input type="checkbox"/> 子チケットの管理	<input type="checkbox"/> チケットをプライベートに設定	<input type="checkbox"/> 自分のチケットをプライベートに設定
<input type="checkbox"/> 注記の追加	<input type="checkbox"/> 注記の編集	<input type="checkbox"/> 自身が記入した注記の編集
<input type="checkbox"/> プライベート注記の閲覧	<input type="checkbox"/> 注記をプライベートに設定	<input type="checkbox"/> チケットの削除
<input type="checkbox"/> 公開クエリの管理	<input type="checkbox"/> クエリの保存	<input type="checkbox"/> ウォッチャー一覧の閲覧
<input type="checkbox"/> ウォッチャーの追加	<input type="checkbox"/> ウォッチャーの削除	

ニュース

<input type="checkbox"/> ニュースの管理	<input type="checkbox"/> ニュースへのコメント
----------------------------------	-------------------------------------

● 普段の(通常の)ロールでは「必須」指定をワークフローで設定

ロール: レギュラー
 トロッカー: 全般
 編集 このトロッカーで使われているステータスのみ表示する

	未着手	対応中	対応完了	差戻	承認済
期日	必須	必須	必須	必須	必須
作業分野	必須	必須	必須	必須	必須
QMS文書	必須	必須	必須	必須	必須
ハンダーS/W	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用

● 「必須欄保守」ロールだけは、期日・QMS文書は制限なし

ロール: 必須欄保守
 トロッカー: 全般
 編集 このトロッカーで使われているステータスのみ表示する

	未着手	対応中	対応完了	差戻	承認済
期日					
作業分野	必須	必須	必須	必須	必須
QMS文書					
ハンダーS/W	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用	読み取り専用

●やってみると・・・メンテする人に「必須欄保守」ロールを割り当てれば変更OK。

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート ニュース 文書 Wiki 設定

✓ 更新しました。

全般 #3 編集 ☆ ウォッチ コピー 削除

2014/08/01 ベンダーS/W追加、まだまだシンプル « 前 | 12/14 | 次 »

キャロル H が2017/05/04 00:13に追加. 2017/05/05 14:00に更新.

ステータス:	承認済	開始日:	2014/08/01
優先度:	Normal	期日:	
担当者:	マーク G		
作業分野:	z3-管理・監視S/W	ベンダーS/W:	03-管理・監視S/W
QMS文書:			

子チケット 追加

関連するチケット 追加

履歴

ケリー W が2017/05/04 00:16に更新 #1

- 担当者をマーク G にセット

マーク G が2017/05/04 00:16に更新 #2

作業分野に値をセットできた。

期日はブランクのまま無変更。

移行

QMS文書はブランクのまま無変更。

●リスト画面からの一括操作で大量のチケット更新が楽々完了!



実際は、選択肢毎に何枚・何十枚をまとめて実施しました

#	トラッカー	ステータス	題名	開始日	期日	ベンダーS/W	QMS文書	作業分野
8	全般	対応完了	ベンダーS/W追加、まだまだシンプル6	2016/05/01	2016/05/01			01-Operating System
6			ベンダーS/W追加、まだまだシンプル4	2015/12/01	2015/12/31	02-File System Software		
5			ベンダーS/W追加、まだ	2015/10/01		03-管理・監視S/W		

●終了後は、「必須欄保守」ロールを削除。

- または他と同じにして抜け穴を塞ぐ

●注意とヒント

- 実は、「必須欄保守」のワークフローで制限なしに設定すれば、誰にも「必須欄保守」ルールを割り当てなくても、Redmine管理者は更新OKになります。
 - Redmine管理者は、誰かができる可能性のあることは、できる。
- ワークフローでの「必須」設定は、設定漏れなどの危険性もあります。
 - 日頃のルールやトラッカーの整理整頓・把握が重要です。
 - カスタムフィールドでの「必須」の方が確実です。

●感想

- よくできてるなあ > Redmine
 - 設定の構造や、定義の適用範囲などに納得感がある。

謝辞



**ご清聴ありがとうございました
そして、皆様にお礼申し上げます**

●CODAを利用している利用者各位、

●Redmineが好きで(?) 公私で活用している皆様、

●Redmineのイベントなどに参加される皆様、

●Redmineについて書籍・イベント・ブログなどで情報発信している皆様、

●Redmineのエコシステムに携わっている皆様、

●Redmineの開発・改善・機能拡張、プラグインに参画されている皆様、

それ以外にも、挙げきれない、いろいろな皆様、

**ありがとうございます
今後も盛り上げていきましょう !!**

●おまけ: ロール設定でこんなこともできます

- 「ロール」権限レポートで、こうすると

文書	オブザーバー	レギュラー	文書係	承認係	管理係
✓ 文書の追加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
✓ 文書の編集	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
✓ 文書の削除	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
✓ 文書の閲覧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

●キャロルには文書タブが見える

ホーム マイページ プロジェクト ヘルプ ログイン中: carol 人設定

検索: DEMODA通用

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート ニュース **文書** Wiki

概要

デモ用プロジェクト

チケットトラッキング

- 全般: 3件未完了 / 全14件

すべてのチケットを見る | ガントチャート

メンバー

- レギュラー: キャロル H, ケリー W, ダグ R, テイヴィッド M, マーク G
- 文書係: キャロル H**
- 承認係: テイヴィッド M
- 管理係: ケリー W

●マークには見えない

ホーム マイページ プロジェクト ヘルプ ログイン中: mark 人設定 ログアウト

検索: DEMODA通用

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート ニュース Wiki

概要

デモ用プロジェクト

チケットトラッキング

- 全般: 3件未完了 / 全14件

すべてのチケットを見る | ガントチャート

メンバー

- レギュラー: キャロル H, ケリー W, ダグ R, テイヴィッド M, マーク G**
- 文書係: キャロル H
- 承認係: テイヴィッド M
- 管理係: ケリー W

機能の確認や、運用開始前に一部メンバーだけでデータを整備する、などに利用できます